

協議第15号 バス停留所の変更及び整理について

1. 新幹線生地線のバス停留所位置変更について

「新幹線生地線」と「南北循環線」のバス停留所のうち、「YKK黒部栃沢工場」は同じ場所に停留所を設置している。

「南北循環線」の実証運行開始後、バス利用者が通勤時間帯で急増により、利用者の歩行動線と工場側に入退場するYKK社員の乗用車、並びに業者の業務車両の動線とが交差することとなり、バス利用者の安全面が確保できず大きなリスクとなっていた。

そこで1月2日（月）より「南北循環線」の停留所位置を歩行者と車の動線交差がない工場棟寄りの駐車場内へ移設し、交通事故発生リスクを大幅に削減した。

今回、「新幹線生地線」も同様にバス利用者の安全と利便性向上を目的として移設し、「南北循環線」のバス停留所位置に統合する。

(1) 実施時期

一般乗合旅客自動車事業の事業計画変更（路線・運行系統）の許可日より
 ※南北循環線のバス停位置変更については、実証実験期間中であることから先行して実施済み

(2) 変更後の停留所位置(地番)

現在位置：黒部市古御堂舌五郎割 346 番 3

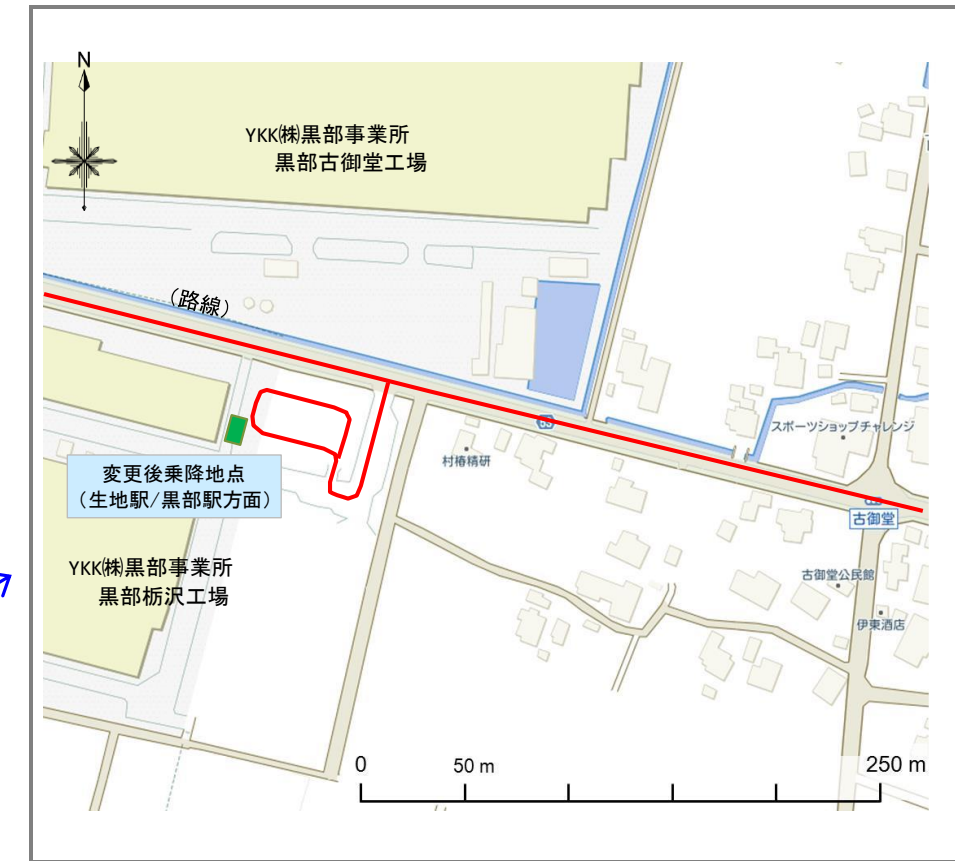


変更後：黒部市古御堂舌五郎割 449 番 1

【新幹線生地線 路線図】



変更後【停留所付近の状況】



変更前【停留所付近の状況】



2. バス停留所の整理について

(1) バス停留所の近接、重複について

- ・市内バス交通ネットワークは段階的に整備され、現在8路線が運行されている。
- ・特に複数の路線が乗り入れている市街地エリアでは、一部のバス停で位置の近接や名称の重複等が起こっており、利用者にとって混乱を招きかねない箇所がある。
- ・南北循環線運行社会実験においては、従前の社員専用通勤バス利用者側の混乱を防ぎ、かつ利便性を最大限維持するよう、これまでの乗降場所と同様の位置でバス停が設置されたため、既存ネットワークにおけるバス停との重複が複数箇所が発生した状況となっている。
- ・こうした状況を踏まえて課題のあるバス停を抽出し、主に作業部会等で議論を行いながらバス停の調整を行った。なお、バス停の整理に当たっては、重複の排除により利用者にわかりやすくすることや、利用者の利便性の確保を図りつつ、乗降や待合時における安全性を確保することを重視した。

(2) 各バス停留所の変更案

① YKK黒部寮(石田三日市線、南北循環線)

変更案：石田三日市線のYKK黒部寮バス停を廃止。南北循環線側は維持。



② 熊野神社(石田三日市線)、YKK堀切寮(南北循環線)

変更案：熊野神社(石田三日市線)をYKK堀切寮(南北循環線)の位置へ移設し統合。

名称をYKK堀切寮に変更。



③ 高橋(石田三日市線)、堀切新(南北循環線)

変更案：高橋(石田三日市線)と堀切新(南北循環線)をそれぞれ移設。名称は堀切新に統一。



④ 中新(生地三日市循環線)、中新公民館(南北循環線)

変更案：中新公民館(南北循環線)を「中新」に変更し、名称を統一。



⑥ パッシブタウン(新幹線市街地線)、パッシブタウン(南北循環線)

変更案：パッシブタウンを「パッシブタウン・黒部郵便局」に変更



⑤ 堀切公民館(石田三日市線)、堀切公民館(南北循環線)

変更案：石田三日市線の堀切公民館を「町堀切公民館」に変更



3. 黒部市民病院バス停の変更について

バス停名：市民病院前
→廃止

- ・新幹線市街地線
- ・生地三日市循環線
- ・池尻線

バス停名：市民病院前
→廃止

- ・新幹線市街地線
- ・生地三日市循環線
- ・池尻線
- ・南北循環線
(金太郎温泉線)

バス停名：市民病院
→新設

- ・新幹線市街地線
- ・生地三日市循環線
- ・池尻線
- ・石田三日市線
- ・南北循環線

バス停名：黒部市民病院
→廃止

- ・南北循環線

バス停名：市民病院東
→廃止

- ・石田三日市線

